
夢

反自律(= ` ´ =)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢

【コード】

N3203Z

【作者名】

反自律（＝、・＝）

【あらすじ】

軽めの掌編。

よいゆめを。

人間の彼はいった。

「夢をみたよ。」

夢のなかでぼくは、一体の巨大な龍であつて、黒と銀の光沢をもつた綺麗な鱗に包まれ、立派な角と鉤爪を持ち、自由自在に天空を駆け巡るんだ。

その爽快なことといったらなかつたよ。

そして、目覚めてからこう思つたんだ。

『やけに現実味のある夢だったなあ。』

夢の中の自分と、今、目覚めている時の自分、いったいどちらのほうか本当の自分なんだろうか？』

つてね」

龍の彼はいった。

「夢をみたよ。」

夢のなかでおれは、一匹のちっぽけな人間であつて、地味な灰色の窮屈な着物を着、首輪のような布を首に締めて、毎日行きたくない灰色の箱のなかに通うんだ。

その味気ないことといったらなかつたよ。

そして、目覚めてからこう思つたんだ。

『やけに現実味のある夢だったなあ。』

夢の中の自分と、今、目覚めている時の自分、いったいどちらのほうか本当の自分なんだろうか？』

とな」

人間の彼女はいった。

「わたしという存在がいて、毎日やるべき仕事もあつて、とりあえずは将来に対する不安もない。」

それでも、そんな問いを真面目に追求する必要があるかしら？」

龍の彼女はいった。

「わたしという存在がいて、毎日やるべき仕事もあって、とりあえずは将来に対する不安もない。

それでも、そんな問いを真面目に追求する必要があるかしら？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3203z/>

夢

2011年12月11日02時57分発行